

〔日〕仓持保男 阪田雪子 ●计 钢 编译

日语惯用句辞典

RIYUGUANYONGJUCIDIANRIYUGUANYONGJUCIDIANRIYU

ニホンゴカンヨウクジテン



● 湖北科学技术出版社

GYU

日语惯用句辞典

GUANYONGJUCIDIANRIYUGUANYONGJUCIDIANRIYU

●〔日〕仓持保男

阪田雪子

●计 钢 编译

●湖北科学技术出版社

日语惯用句辞典

〔日〕仓持保男

〔日〕阪田雪子

计钢 编译

*

湖北科学技术出版社出版发行 新华书店湖北发行所经销

湖北省新华印刷厂印刷

787×1092毫米 32开本 12.375印张 5插页 350千字

1988年4月第1版 1988年4月第1次印刷

ISBN 7—5352—0201—2/H·6

印数：1—7 000 定价：6.10 元

前 言

任何民族的语言，都有其独特的惯用形式。通常，我们把日语中的惯用形式称作惯用句。惯用句为固定搭配形式，通常由两个以上的单词构成，且其意义不是各单词词义的简单堆砌，而表示一种新的含义。例如：「大学を出たのに、まだ親の醵(すね)をかじっている」一句中的「親の醵をかじる」是用来表示“经济上不能独立，依靠父母生活”一义的。又如，同为「骨を折る」，在「スキーで転んで、足の骨を折った」一句中，仅仅是普通的说法，表示“腿骨摔折了”；而在「職を探すのに骨を折った」一句中，则是惯用句的用法，意为“费尽周折”。

一般来说，惯用句巧妙而灵活地运用了各单词本身所具有的含义。因此，在表达同一内容时，与其它表现形式相比，惯用句具有给人以深刻印象的效果。恰如其分地使用惯用句，可以使语言表现丰富、生动活泼。此外，掌握了惯用句，还能够充分地理解他人的言谈及文章，也可以避免不必要的误会。

本辞典收集了日常生活中常用的日语惯用句，作了通俗易懂的释义。并且，举出适当的用例，以便读者能理解其用法，并正确地运用。

从某种意义上来说，日语中的惯用句近似于汉语中的成语、歇后语。但由于各个民族生活习俗、语言习惯的不同，

惯用形式的句子结构、表达方式各异也是毫不奇怪的。例如：汉语中表示“改邪归正”之意时，常用“洗手不干”，而日语则用「足を洗う」来表达相同的意义。因此，在学习和运用其他民族的语言惯用形时，首先要掌握其准确的含义、释义，而不能生搬硬套本民族语言的某一惯用形，更不能望文生意。

本辞典的编译宗旨，首先是尊重日本民族的语言习惯，严守原义；在此基础上，尽可能配以意义相同、喻义相近的汉语成语和歇后语，并适当加注小括号辅之。此外，为了忠实原义，有相当一部分词条不得不采取了意译。并且，词条在例句中的译义，由于上下文的影响，有所异动之处亦为数不少。

本辞典的“用法说明”，基本照原著用法说明翻译，部分地方略有增删，亦有一两处顺序变动。词条及用例，亦略有增加改动。

本辞典承余振明副教授审阅，在此谨表谢意。

原《必备日语惯用句辞典》的编者倉持保男（くらもち・やすお）：日本庆应大学国语学副教授；阪田雪子（さかた・ゆきこ）：日本东京外国语大学日语学教授。

编 译 者

一九八四年于日本京都市

用法说明

一、索引：

本辞典选用了日常语言生活中使用频率较高的惯用句约3500条，以汉字、假名混合形式，按五十音图顺序排列。

二、意思及解释：

本辞典尽可能采用通俗易懂的解释方法，使读者阅后即能理解意思及用法。同时，注意表现出与其它意义相近的惯用句在意思、用法上的差异。

三、用例：

为了使读者能更准确地把握意思及用法，在解释后均附有用例。有的句子，由于场合不同，可以具有几种不同的含义及用法，这些也都一一加以注明。但举例时，仅限于举出比较常用的一例，其它用法则类推。

四、类义句：

与索引句具有类似意义的句子，均在用例之后以圈的形式表示出来。作为圈提示出的大部分类义句，因其意思、用法均可以索引句为准，故没有单独作为索引句列出，并不附解释及用例。

此外，由于助词本身具有的细小差异，以及由索引句本身的省略产生的句子，因与索引句只有细微差异，所以仅在索引句后显示该句形式，不作圈提示。

例：命拾いを・する〔いのちびろいをする〕（亦作「命を拾う」）

海老で鯛をつ・る〔えびでたいをつる〕（亦作「海老鯛」）

五、自动词形式及他动词形式：

与索引句相对应的自动词形式以及他动词形式，分别在用例后，以直廻的形式表示出来。

例：証を立・てる〔あかしをたてる〕……直証が立つ

足が・出る〔あしがでる〕……廻足を出す

但是，诸如「愛想が尽きる」与「愛想を尽かす」一类的句子，虽然形式上看起来似乎为自他对对应关系，但在实际应用上，如「彼には私もほとほと愛想が尽きた/对他我几乎已经失望了」与「彼には私もほとほと愛想をつかした」/（同上）却不_レ存在自他对对应关系，这类句子作为图提示。

例：生地が・出る〔きじがでる〕……图生地を出す

六、反义句：

与索引句相对应的反义句，在用例之后，以圆的形式表示出来。

例：受けがよい・い〔うけがいい〕……圆受けが悪い

七、参照其它索引句：

需参照其它索引句时，以→表示出应参照的索引句。

1. 紧接着索引句的→：

该符号出现在作为图直廻等形式处理、并单独立为索引句的句子之前。此时，由于前后两句被置于相互邻近的位置，故对索引句不加解释。其意思及用法均参照所指向的后一句。

例：泡を吹か・せる〔あわをふかせる〕→一泡吹かせる〔ひとあわふかせる〕

足を出・す〔あしをだす〕→足が出る

2. 附在词条末尾的→:

该符号出现在因与索引句意思以及由来有某种较密切关系、并通过互相参照有助于加深对句子理解的句前。

例: 十指の指す所〔じっしのさすところ〕……→十目の
見る所〔じゅうもくのみるところ〕

十日の菊〔とおかのきく〕……→六日の菖蒲〔むい
かのあやめ〕

八、活用语词尾表示・:

索引句中, 凡有活用变化的词的词干和词尾之间, 以・表示出来。

例: 足を出・す

頭に・来る

九、省略符号～:

该符号用于用例中, 表示索引句的部分或全部省略。

例: 足を棒に・する〔あしをぼうにする〕

○～・して探し回る。

顎が落ちそう〔あごがおちそう〕

○おいしくて～だ。

十、用字:

原则上采用常用汉字及现代假名注音。此外, 亦采用了一部分虽不为常用汉字、但作为传统表示法已被广泛应用的汉字。这部分汉字均注有假名, 以便阅读。

あ

ああ言えばこう言う 〔ああいえばこういう〕/ 你这么說,他那么說,总有理由

◦ まったくこの子にはあきれたね。～で、少しも人の言うことを聞こうとしないのだから/ 簡直拿这孩子没办法! 你说他吧,他总有理由,一点儿也不肯听别人的话。

愛敬を振りま・く 〔あいきょうをふりまく〕/ 乱献殷勤

◦ いつもは威張っているあの男が、今度の選挙に立候補するためか、今日はやたらに～・いている/ 一向盛气凌人的那家伙,也许是为了在这次竞选中当选为候选人吧,今天见了谁都献殷勤。

合言葉に・する 〔あいことばにする〕/ 以……为(纲领性)口号

◦ 民主主義を～・してきた戦後政治も、最近是一个の轉換期に差ししかかってきたようだ/ 以民主主义为口号的战后政治,最近似乎也进入了一个转折时期。

愛想が尽・きる 〔あいそがつきる〕(亦作「あいそが尽きる」)/ 嫌弃, 厌恶, 不答理

◦ 分からずやのあの子には、もう～・きた/ 对那不懂道理的孩子,我再也不管了。

困愛想を尽かす

開いた口が塞がら・ない 〔あいたくちがふさがらない〕/ 目瞪口呆

◦ あまりのばかさかげんに、～・なかった/ 那股傻劲儿简直令人目瞪口呆。

相槌を打・つ 〔あいづちをうつ〕/ 随声附和, 连连称是

◦ ～・ちながら、熱心に話に聞き入る/ 一面连连称是,一面热心地听取对方的话。

合の手を入・れる [あいのでをいれる]/呐喊助兴,喝采助兴,助兴
。聴衆が～・れるのに気をよくして、演説に一段と熱が入る/因听众喝采助兴,感到很高兴,演说得更加起劲了。

愛の鞭 [あいのむち]/出于爱护之心而采取的严厉态度(手段)
。あの学生を停学処分にしたのは、教育者としての～だ/给予那个学生停学处分,是出于教育工作者对学生严父般的爱。

合間を縫・う [あいまをぬう]/插空儿
。仕事の～・って、二か月ぶりに床屋に行ってきた/已有两个月没理发了,趁工作间隙时间,去了一趟理发店。

阿吖の呼吸 [あうんのこきゅう]/(相扑)运气,运气时出的声,同心同德
。～が合って、両力士が同時に立ち上がった/两位力士运足了气,同时站了起来。

青息吐息 [あおいきといき]/一筹莫展,长吁短叹
。年末なのに資金繰りがつかず、～だ/年底了,偏偏筹措不到资金,令人一筹莫展。

青くな・る [あおくなる]/脸色发青,吓白了脸,脸色发白
。チンピラに絡まれたが、一喝したら～・って逃げて行ってしまった/被流氓缠上,然而一声大喝,那家伙就吓白了脸,逃之夭夭。

青写真を描・く [あおじゃしんをえがく]/描绘蓝图,规划远景
。頭の中にはすでに定年後の青写真が描かれている/早已在头脑里设想好了退休后的规划。

青筋を立・てる [あおすじをたてる]/(气得)青筋直暴
。額に～・てて怒る/气得头上青筋直暴。

青田買い [あおたがい]/买青苗(指厂家等用人单位与刚升入毕业班的学生签订就业合同)

。～をあまり派手にやられると、四年生が落ち着かなくなっている/如果听凭“买青苗”大张旗鼓地搞下去,四年级学生将会不安心学习,后果不堪设想。

青菜に塩 [あおなにしお]/垂头丧气,无精打彩
。彼は入社試験に落ちて、～の状態だ/他因在公司招考中落榜而

垂头丧气。

煽りを食・う〔あおりをくう〕/ ①受强风袭击 ②因情况发生巨大变化而遭受损失

○暴風の～・って一〇メートルも吹き飛ばされた/一阵暴风袭来，被吹出了十米之远。

○円高の～・って経営が苦しい/因日元比值过高而遭受损失，经营艰难。

垢が抜・ける〔あかがぬける〕(亦作「垢抜けする」)/变洋，时髦

○東京で大学生活をするうちに、あの子も～・けてきたね/到东京上大学之后，那孩子也变得时髦起来了。

足掻きが取れ・ない〔あがきがとれない〕/动弹不得，进退维谷，不知所措

○何とかしたいと思っても、この不景気では～・ない/即使想干点什么，在这萧条时期也是办不到的。

赤くな・る〔あかくなる〕/(因害羞而)脸红

○聞いている方が～・るようなことを、人前でよく言えるね/让人听了脸红的事情，亏你竟能当着众人讲！

赤子の手を捻るよう〔あかごのてをひねるよう〕/不费吹灰之力，轻而易举

○今日の試合は相手が弱過ぎて、～なものだった/今天的比赛，因对手太弱，没费吹灰之力。

図赤子の腕を捻るよう〔あかごのうでをねじるよう〕

証を立・てる〔あかしをたてる〕/证明自己清白无辜

○自ら真犯人をつきとめ、身の～・てた/亲自查明真正的犯人，证明自己清白无辜。

直証が立つ

赤信号が付・く〔あかしんごうがつく〕/告急，(因事态所迫而)处于紧急状态

○空梅雨に終わり、東京の水不足に～・くのは必至だ/梅雨期无雨，东京供水告急实则是必然趋势。

赤の他人〔あかのたにん〕/素不相识的人，毫不相干的人

。もう、今日から君とは～だ/从今天起，我与你再无任何关系。
赤恥をか・く〔あかはじをかく〕/当众)出丑，丢脸

。みんな正装をして来ていたのに、私だけ平服でとんだ～・いた
/大家都穿着正式的服装来了，唯独我一人穿着随便，太丢脸了。

飽きが・来る〔あきがくる〕/腻味，厌倦

。こういう派手な柄は、初めのうちはいいが、そのうちに～・来
ると思う/这种艳丽的图案，乍一看还行，但再看看就使人腻味了。

秋風が立・つ〔あきかぜがたつ〕/〔秋〕和〔飽〕是双关语) 爱情冷淡
下去，爱情出现危机

。交際が長過ぎたせいか、あの二人の間には、～・ち始めたよう
だ/或许是因为交往时间过长的缘故，那两人之间的爱情似乎开始冷
淡了。

灰汁が強・い〔あくがつよい〕/个性过强

。今年の新人賞を取った小説は、～・い文章だが、なかなか迫力
のある作品だ/获得今年“新人奖”的小说 虽然文章个性太强了点
儿，但确是一部相当引人入胜的作品。

灰汁が抜・ける〔あくがぬける〕/老练

。あの人は管理職になったら、上と下からもまれたためか、～・
けてきた/那人也许因为当了干部后常要与上上下下发生摩擦的缘
故吧，变得老练起来了。

悪女の深情け〔あくじょのふかなさけ〕/ ①丑女情深 ②不受人欢
迎的好意，反给人添麻烦的好意。

。～とやらで、彼は木村さんに惚れ込まれ、弱っているようだ/
常言道：丑女情深，他似乎被木村小姐迷上，不能自拔了。

アクセントを置・く〔アクセントをおく〕/设重点，侧重

。防衛力の増強に～・いた予算編成/侧重于加强防卫力量的 预算
方案。

悪銭身に付かず〔あくせんみにつかず〕/不义之财，不得好花(喻不
劳而获的钱财因来得轻易挥霍起来也容易)

。競馬で大穴を当てたが、～で、あっという間に使ってしまった
/赛马赢了一大笔赌注，但到底是来得轻易丢得快，转眼间这笔钱就

花了个精光。

惡態をつ・く〔あくたいをつく〕/恶语伤人，口吐秽言

○借金を断われ、～・いて帰って行った/没借到钱，便骂骂咧咧地回去了。

惡の温床〔あくのおんしょう〕/罪恶之源，万恶之源

○大都会の歓楽街は～だ/大城市的花柳巷是罪恶之源。

欠伸を噛み殺・す〔あくびをかみころす〕/①忍住哈欠 ②耐住性子

○校長の話を生徒は～・しながら聞いている/学生们耐着性子听校长讲话。

あぐらをか・く/稳坐，安坐

○彼が社長の座に～・いていられるのも長くはあるまい/他能稳坐经理这把交椅的日子怕也不长了。

揚げ足を取・る〔あげあしをとる〕/抓人短处，吹毛求疵，抓小辫子

○あいつは人の言葉じりをとらえて、揚げ足ばかり取っている/那小子专门抓人家话柄，吹毛求疵。

揚句の果て〔あげくのはて〕/最后，终于(结果多为不好的或出乎意料之外的事情)

○些細(ささい)なことから口論となり、～は殴り合いの喧嘩(けんか)になった/由芝麻大点儿的小事引起争吵，最后双方竟打了起来。

上げ潮に乗・る〔あげしおにのる〕/乘东风，一帆风顺

○事業は～・って急速に発展した/事业一帆风顺，发展很快。

上げたり下げたり〔あげたりさげたり〕/一褒一贬，一会儿说好一会儿说不好，忽左忽右

○あの人の美術評は～で、結局何が言いたいのかよく分からない/那人的美术评论，忽儿说好忽儿道不好，不知他到底想说些什么。

明けても暮れても〔あけてもくれても〕/日日夜夜，无时不刻

○彼女は～死んだ恋人のことばかりくよくよ考えているようだ/她似乎别的什么也不考虑，只是无时不刻地想着死去的心上人。

顎が落ちそう〔あごがおちそう〕/格外好吃

。おいしくて～だ/好吃极了。

㊦ほったが落ちそう

顎が外・れる〔あごがはずれる〕/大笑不止，笑得合不拢嘴

。彼の滑稽(こっけい)なしぐさに、みんな～・れるほど笑いこぼした/他那滑稽的举止，使大家笑得前仰后合。

㊦顎を外す

顎が干上が・る〔あごがひあがる〕/无法生活，无法养家糊口

。僕らの商売は、こう雨ばかり続いたのでは～・ってしまう/干我们这一行，象这样雨下个没完的话，就无法养家糊口了。

㊦口が干上がる

鼻の下が干上がる

顎で使・う〔あごでつかう〕(亦作「顎の先で使う」)/使唤人，(自己不动手)叫人家干

。最近の子供は親を～・うような態度をとっている/最近，孩子们什么都要父母干。

顎をしゃく・る〔あごをしゃくる〕/颐指气使

。いくら部長でも、～・って部下に用を言い付けるのはひどい/就是部长，对部下颐指气使随意支配，也未免太过分了。

顎を出・す〔あごをだす〕/精疲力尽，一筹莫展

。頂上はおろか三合目で早くも～・した/不要说到山顶了，才到三合目(富士山高度的十分之三处)就精疲力尽了。

顎を撫・でる〔あごをなでる〕/①得意洋洋 ②神情惆怅

。老人は孫を相手に、～・でながら、自慢話を始めた/老人得意洋洋地对孙子讲起自己的往事。

明後日の方〔あさってのほう〕/错误的方向，背道而驰的方向，反向

。そんな～を探したって、見つかりっこないよ/你根本就找错了方向，怎么可能找得到呢!

朝飯前〔あさめしまえ〕/轻而易举的事，极易办到的事

。そんなことは～だ/那样的事儿真是太容易办到了。

足が重・い〔あしがおもい〕/不想去，懒得去，挪不动脚

。見舞いに行かなければと思うのだが、癌で助からないことが分かっているので、～・くなる/虽然想着理应去探望一下,但因为知道病人患的是癌症,已经没救了,所以不想去。

足が地に付か・ない〔あしがちにつかない〕(亦作「あしがじにつかない」)/不踏实,不扎实,(心里)七上八下

。あの男は気が多過ぎて、何をやっても～・ない/那人太三心二意了,干什么都不踏实。

足が付・く〔あしがつく〕①找到(逃犯的)踪迹 ②根据……而知道谁是罪犯

。地道な聞込捜査で、犯人の～・いた/一环扣一环 进行搜索,找到了犯人的线索。

。現場に落ちていたハンカチから～・いた/根据掉在现场的手帕知道了谁是犯人。

足が・出る〔あしがでる〕/超出预算,亏空

。予定より一万円ぐらい～・出たが、予備費でまかなった/比计划多用了约一万日元,用预备费补上了这个亏空。

匱足を出す

足が遠の・く〔あしがとおのく〕/不常往来,疏远

。母親が死んでからは、実家へもすっかり～・いてしまった/自从母亲死后,与娘家就没有往来了。

足が早・い〔あしがはやい〕/①易腐烂,易变质 ②畅销

。生魚(なまざかな)は～・いから気をつけなさい/生鱼易变质,要注意。

。今度の新製品は思ったより～・く、生産が追い付かない/这次的新产品比预想的销路要好得多,供不应求。

足が棒にな・る〔あしがぼうになる〕/累得腿僵直,(因长时间站立或行走)两腿变得不听使唤

。一日中立ちっ放しで、～・った/站了整整一天,腿都僵硬了。

足が向・く〔あしがむく〕/信步而至,不由自主地行至……

。まっすぐ家に帰ろうと思って会社を出たが、自然と行きつけの飲み屋の方に～・いてしまった/想着要径直回家去,可出了公司,

便身不由己地走进了常去的小酒店。

足蹴に・する〔あしげにする〕/一脚踢开，以脚踢人

○立身出世のために恩人を～・するとはあきれた奴だ/为了飞黄腾达而将恩人一脚踢开，真是个缺德透顶的家伙。

明日は明日の風が吹く〔あしたはあしたのかぜがふく〕/（过去的事，就让它过去了）明朝自有明朝福，风物长宜放眼量

○いまさら済んでしまったことを後悔してもしかたがない。「～・く」だ/事到如今后悔也没用。“风物长宜放眼量”，想开点儿吧。

足手まといにな・る〔あしでまといになる〕/成为累赘，连累他人

○君のように体の弱い人は、かえって探険隊の～・る/象你这样体弱的人，反而会拖累整个探险队。

足留めを食・う〔あしどめをくう〕/被禁止外出，软禁

○危険だからホテルから出てはいけないと、～・っている/说是因为有危险，不可出旅馆，被禁止外出。

味なことをや・る〔あじなことをやる〕（亦作「味をやる」）/干得漂亮，干得利落

○君も見かけによらず、なかなか～・るね/看不出你还真有两下子，干得真漂亮。

足並みが揃・う〔あしなみがそろう〕/步调一致

○各組合の～・わず、予定されていた統一ストはお流れになる/各工会的步调不一致，预定的统一罢工流产了。

圖足並みを揃える

足に任・せる〔あしにまかせる〕/信步而行

○若いころは～・せて、あちこち気ままな旅をしたものだった/年轻时，我常常信步而行，到处旅游。

足場を失・ろ〔あしばをうしなう〕/失去立足点，失去资格

○国内大会で敗れ、世界大会進出への～・ってしまった/在国内比赛中失利，从而失去了参加世界比赛的资格。

足場を固・める〔あしばをかためる〕/打好基础

○県議会で活躍し、国会議員への～・めた/在县议会积极活动，为当选国会议员打下基础。

足踏みをする〔あしぶみをする〕/停滞不前，踏步不前

○思いのほか輸出が伸びず、売上高が～・している/出乎意料，出口没有增长，出口额停滞在原来水平上。

味もそっけもない〔あじもそっけもない〕/乏味，枯燥无味

○型にはまった、～・い年賀状/千篇一律、乏味的贺年片。

足下から鳥が立つ〔あしもとからとりがたつ〕/事出突然

○～・っように帰って行った/心急火燎地回去了。

足下につけ込む〔あしもとにつけてむ〕/钻人空子，乘人之虚

○人の～・んで金を巻き上げる/乘人不备，将钱抢走。

足下に火が付く〔あしもとにひがつく〕/大祸临头，身处险境

○仲間が逮捕され、ついに彼も～・いた/同伙被逮捕，致使他也处于十分危险的境地。

足下にも寄りつけ・ない〔あしもとにもよりつけない〕/望尘莫及

○あの人の頭のよさは、私なんか～・ない/他的聪明，我这号人望尘莫及。

足下の明るいうち〔あしもとのあかるいうち〕/趁早，趁事情还没有败露

○～・に使い込みの穴埋めをしておかないと、とんでもないことになる /趁事情还没有败露，赶快将挪用掉的钱补齐，否则将会出大乱子。

足下を・見る〔あしもとをみる〕/抓住他人弱点，利用他人弱点

○～・見られて、安く買いたたかれた/被人抓住了弱点，让价贱卖了。

足を洗・う〔あしをあらう〕/洗手不干，改邪归正

○やくざの世界から～・って、まじめに生きる/洗手不做赌徒，安分守己地过日子。

足を入・れる〔あしをいれる〕/进入，涉足

○一度やくざの世界に～・れると、容易には抜けられなくなるそうだ/据说一旦进了黑社会，就很难自拔了。

足を奪わ・れる〔あしをうばわれる〕/失去交通工具，交通瘫痪

○交通ストで通勤・通学の～・れた/因为交通部门罢工，交通陷于